



ぎおんぼら

学校教育目標
響き合い、輝かし合いなが
ら、共によりよく生きよう
とする子どもの育成

令和元年10月28日発行 発行者：谷田部 二三子

木々が色づき始め、秋の深まりを感じます。

後期が始まりました。6年生は修学旅行に、1・2・3年生は遠足にと、行楽の秋を楽しみました。また、10月21日からは校内読書週間が始まり、読書の秋を楽しんでいるところです。10月30日には下野市小学校陸上記録会、10月31日には小中交流音楽集会、11月1日にはふれあい遠足、さらにその後は、音楽鑑賞会、4年生の宿泊学習・・・と楽しい行事が続きます！



10月11日の前期終業式、10月15日後期始業式で話したこと

前期の終業式では、「思いやり」「助け合い」「がんばる」の3つのキーワードもとに、ふり返りました。私からいくつか事例を挙げて、自分や友達のよかったところを思い出せるようにしました。

- 思いやり**
- ・登下校時に下級生の荷物がたくさんあるとき、手伝って持ってくれる上級生がいる。
 - ・下級生が転んでけがをした時や、友だちが具合悪い時に、優しく声をかけながら保健室に連れて来てくれる人がいる。
 - ・後で使う人のことを考えて、トイレのスリッパを揃えてくれている人がいる。
- 助け合い**
- ・掃除の時間、上級生が丁寧に箒で掃いた後を、下級生が丁寧に拭いている姿をよく見る。
 - ・児童表彰式の準備を5年生がみんな力で合わせてやっていた。
 - ・ペアやグループで話し合ったり、ミニ先生になって困っている人に教えたりして、友達から学ぼう、みんなでできるようになろうとする姿が見られるようになってきた。
- がんばる**
- ・鉄棒や登り棒など、手の皮が剥けるほど頑張っている人がいる。
- (頑張っている人を「がんばれ！」と応援する人もたくさんいる。これは、**思いやり**や**助け合い**につながる心だと思う。)

後期の始業式では、自分のよさをさらに伸ばせるよう、大谷翔平選手を例にあげて「夢をかなえるには」という話をしました。大谷選手は、「メジャーリーガーになる」という夢をかなえるために、高校1年生の時に目標達成表を作りました。8つの項目の中に、「人間性」と「運」があります。なぜ「人間性」が必要なのか、どのようにして「運」を手に入れるつもりなのか、それぞれをかなえるために大谷選手が取り組もうと考えたものを紹介して、考えさせてみました。

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 体づくり | コントロール | キレ |
| メンタル | ドラ1 8球団 | スピード 160km/h |
| 人間性 | 運 | 変化球 |

人間性には、「計画性」・「継続力」・「感性」・「感謝」・「思いやり」・「礼儀」・「信頼される人間」・「愛される人間」と記されてありました。

運には、「道具を大切に使う」・「プラス思考」・「応援される人間になる」・「審判さんへの態度」・「本を読む」・「あいさつ」・「ゴミ拾い」・「部屋掃除」と記されてありました。

「本を読む」・「あいさつ」・「ゴミ拾い」・「部屋掃除」と読み上げた時に、子供たちの中からどよめきが起こりました。特別なことでなく、ふだん自分たちもやっていることだからでしょう。大谷選手は、「ゴミ拾いをすると、誰かが捨てた運を拾っていると感じる。ゴミを拾っているうちに、それが楽しみに変わってくる。」と言っています。

実力を高めることと同時に、人間としての力を高めることが、夢や目標をかなえることにつながる。と大谷選手は示してくれているようです。

6年生、おめでとう！！ 下野市児童表彰式

10月7日（月）、下野市の条例に基づき児童表彰式が行われ、6年生51名が、広瀬市長と池澤教育長から、直接、メダルと表彰状をいただきました。また、下野市青少年育成市民会議からは英語のノートをいただきました。

このメダルと表彰状には、「自分の優れたところ、良いところに自信と誇りをもって、くじけずに前を向いて生きてほしい」という願いが込められています。市長からは、「君たちは格好いい。格好いいまま卒業してほしい」とエールを送っていただきました。



地域との結びつきをさらに深めるために

10月16日（水）、第3回学校運営協議会を開きました。今回の内容は、次の通りです。

- 1 二中学区小中合同クリーン活動（11月22日）について
 - ・11月初旬に、グリーンタウンコミュニティ推進協議会や回覧板等を通して、地域の方に協力を呼びかける。
 - ・同様のチラシを保護者にも配って、協力を呼びかける。
- 2 学習ボランティアについて
 - ・ギオンジャーによる学習ボランティアが始まった。算数における丸つけを中心に関わっていただく。学習がスムーズに進み、子供たちの学習意欲が高まった。
- 3 祇園小祭（11月9日）について
 - ・今回は、体験イベントやバザー品回収においても、地域の方に協力をお願いした。親の会の名称を「祇園かんぴ団」として、お父さん達にも協力していただく。
 - ・子供たちと保護者、地域の皆様の楽しい交流の場となるといい。
- 4 その他
 - (1) 登校時の危険箇所についての情報共有
 - (2) 子供たちの地域との関わりをさらに広げるための提案
 - ・子供自身が地域でボランティアをするような経験をさせてみてはどうか。
 - ・地域の方から職業や地域活動等についての話をさせていただく機会を設けてはどうか。

Pepperが祇園交番で・・・

12月14日（土）の下野市プログラミングコンテストに向けて、パソコン・ペッパー部の児童が、Pepperを用いたプログラミング「身の回りで役立つPepper」に挑戦しています。そのうちの一つのグループが、10月16日の放課後、実際に祇園交番に行って実践してみました。まずは、道を歩いている方に交通安全のチラシを配りながら、「体験しませんか」等、声をかけました。たくさんの方が、交通に関するクイズに答えてくださいました。祇園交番の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。



10月25日の児童引き渡しでは、たいへんお世話になりました

突然のお願いであったにも関わらず、ご協力をいただきましてありがとうございました。これまでのマニュアルでは、校庭や体育館、あるいは教室で児童引き渡しをすることになっていましたが、今回は、風雨が強く傘を差して歩くのが危険であり、雷注意報も出ていたため、保護者の皆様や子供たちの安全を考え、「自家用車でのお迎えを可」とし、少しでも渋滞を防ぐために、縦列駐車と一方通行、昇降口での引き渡しとしました。初めての方法だったので、戸惑われたことと思います。また、誘導が滞って車が道路に渋滞した時間帯もあり、近隣の皆様にはご迷惑をかけ、申し訳ありませんでした。今後とも、ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。